

令和3年度 指定管理施設検証シート

別紙3

【基本情報】

(令和4年3月31日現在)

施設名	港区立郷土歴史館		所管課	図書文化財課		
指定管理者	アクティオ・東急コミュニティー共同事業体		募集方法	公募		
障害者雇用率 (令和 年 月)	アクティオ(株) 2.9% (株) 東急コミュニティー 2.33%		利用料金制	×	使用許可権限	×
指定期間	平成30年11月1日から令和6年3月31日まで	グループ化				

【職員体制】

	正規			非正規			合計	平均年齢
	常勤	非常勤		常勤	非常勤			
職員数(人)	8	4	4	49	10	39	57	歳
職員体制の内訳	アクティオ株式会社代表企業となり、施設運営はアクティオが、設備維持管理については東急コミュニティーが受け持つ。業務責任者1名、維持管理業務責任者1名、業務責任者補佐1名、副業務責任者3名、事務室職員9名、設備員1名、総合案内スタッフ8名、アテンダントスタッフ31名で構成されている。							
職員の退職状況 (人/年)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考		
		6	14	6	4			

【事業実績】

項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
来館者数		66,179	134,451	78,201	75,216	
事業数		12	34	41	47	47件83回実施
事業参加者数		901	4,228	3,233	4,154	
チラシ等発行件数		28	51	38	47	
チラシ等発行数		227,418	989,150	652,450	775,950	

【財務状況】

項目(単位:円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
収支(実績)	収入		200,438,679	443,723,509	452,225,012	431,479,627
	指定管理料		199,546,174	441,459,458	450,953,979	430,047,121
	利用料金		-	-	-	-
	事業収入		0	56,000	88,900	147,600
	区補助金		-	-	-	-
	その他		892,505	2,208,051	1,182,133	1,284,906
	支出		177,767,349	429,811,937	422,859,287	417,968,223
	職員人件費		52,979,831	142,022,018	138,720,422	144,709,858
	事業運営費		31,212,828	74,177,951	71,511,570	62,711,672
	施設管理経費		46,737,731	104,420,803	106,607,385	106,517,821
	光熱水費		19,299,151	42,303,377	38,426,780	39,433,242
	修繕費		248,616	8,994,148	9,024,950	7,882,710
	その他		27,289,192	57,893,640	58,568,180	56,712,920
差引収支額		22,671,330	13,911,572	29,365,725	13,511,404	
指定管理料のうち区への返還額		21,234,505	14,075,202	25,592,350	6,380,934	
提案時の指定管理料上限額		216,757,174	455,387,076	461,823,951	462,444,148	

年度協定書で定める指定管理料		199,546,174	441,459,458	450,953,979	430,047,121	
----------------	--	-------------	-------------	-------------	-------------	--

【運営状況】

項目	指定管理者による運営状況の内容	施設所管課による評価コメント	
事業運営	施設設置目的との整合性	港区立郷土歴史館条例に基づき、設置目的等達成するとともに、基本協定等に規定する業務を実施しています。	条例・基本協定・年度協定に基づき、所管課と連携し、郷土歴史館の運営を適切に実施しています。
	サービス提供の状況	毎月第3木曜日、年末年始、特別整理期間を除き開館しています。令和3年度は緊急事態宣言により4月25日～5月31日まで臨時休館しました。	休館日に、併設施設が開館している場合は、建物全体の管理対応を行っています。また、開館時には、新型コロナウイルス感染症対策の徹底により、利用者が安心して、施設の利用ができるよう取り組んでいます。
	利用者アンケートの実施状況	ご来館時に総合案内やイベント受付で手渡しするほか、特別展示室、常設展示室、休憩室等に設置し毎月集計・分析を行っています。令和3年度は設問を追加し、さらなる利用者ニーズの把握に努めました。	利用者アンケートのご意見を踏まえ、事業の改善に反映しています。
	第三者評価の実施状況	令和3年度に実施し、指摘のあった危機対応訓練等の内容見直しについて、令和4年度の改善事項に盛り込み、取り組んでいます。	令和3年度に評価委託業者により、利用者アンケートの集計から施設職員へのヒアリング、本社及び業務責任者からのヒアリングを行い、評価報告書を作成しました。
	運営協議会等の開催状況	月1回、現場指定管理者、本部、区との定例会を開催し、現状認識・課題・事業等について、報告・協議等を行うとともに、併設施設との情報交換も実施しています。	毎月1回の区と指定管理者との定例会を通じて、事業実績や事業予定について報告を受けて確認し、適切な施設運営につなげる機会として活用し、課題の共有化も行っていきます。
	公平な運営	誰もが利用できる施設であることから、来館者目線に立ち、運営ルールが適切か、適宜、見直しを行い対応しています。	利用者目線に立ったサービスの提供に取り組み、公正・公平な施設運営を行い、サービスの向上を推進しています。
管理運営	職員体制及び職員の育成	無駄のない人員構成と無理のないシフトが組める効率的な体制を構築しています。感染症対策のため、中止となった研修もありましたが、接遇向上につながる外部研修の受講や、個人で受講できる内容に工夫した人権研修や個人情報保護研修を実施しました。	適切なシフト体制を構築できており、台風・地震等の自然災害時の緊急対応も適切に行っています。また、必要な職員研修も適宜実施しています。
	職員の労働条件	ハラスメント研修など労務に関する研修の実施、安全衛生委員会における残業時間の振り返りや有休管理を行い、働きやすい職場環境の構築を実践しました。	労務研修を通じた職員の意識啓発に取り組むとともに、健康で安心な労働環境が保持されています。
	施設・設備の維持管理	定期的な点検・清掃を実施するとともに、適宜、不具合箇所の修繕を行っています。	年間で予定した定期点検・定期清掃を実施するとともに、随時、施設の不具合箇所等の確認・修繕を実施しています。
	施設の安全管理	危険箇所の洗い出し、修繕等を適宜実施しています。また情報は適宜共有し、朝礼や月次報告会の機会でも共有しています。	利用者が安全・安心に施設を利用できるよう、必要な修繕を実施しています。
	防災・危機管理対応	施設全体での定期的な訓練を行うとともに、警備職員による様々な想定項目による訓練を実施しています。また、区が開催している危機管理講習等にも積極的に参加をしています。	施設全体の防災訓練を実施するとともに、区の講習にも参加し、危機管理能力の向上に取り組んでいます。
	情報管理	区が実施した情報セキュリティセミナーの受講のほか、個人情報保護研修を開催するなど、情報管理を適切に取り扱っています。	個人情報保護の適切な運用が行われています。
	環境への配慮	環境配慮に対する意識の醸成と省エネの取り組みを行っています。ショップでは、手提げ紙袋を用意する、カフェではプラスチックを材料としない食器を使用するなど、プラごみ削減に取り組んでいます。	区の環境マネジメントシステムの運用に基づき、環境負荷の低減に取り組んでいます。
	会計及び指定管理料	共同事業体であることから、それぞれの担当分野において、適切な会計処理を行っています。	共同事業体の構成企業がそれぞれ適切な会計処理を実施しており、指定管理料の清算時に、関係する帳票についてその内容、金額等を区が確認しています。
地域貢献	併設施設、近隣施設や区施設との連携・交流のほか、近隣町会への訪問等を実施しています。8月のイベント「行灯ナイト」は毎年参加者数を伸ばし、令和3年度は区民の参加が8割超となり、地域に密着した事業として成長しています。	毎月1回開催する施設内の関係事業者全体の連絡会を通じて、相互の情報交換に取り組むとともに、地域の方が参加しやすい事業の実施に取り組んでいます。	

【総合評価】

<p>指定管理者自己評価 (セルフモニタリングの実 施状況等)</p>	<p>設備・清掃・警備担当や併設施設と積極的に連携をはかり、新型コロナ対策および施設内の安全安心に関わる業務に徹底的に取り組みました。事業においてはコロナ禍による制約がある中、感染症対策を徹底したうえで、オンラインを含む多種多様なイベントを展開しました。広報においてはSNSを駆使し、新規フォロワー獲得による情報発信力の強化や、区の協力を得て映画・ドラマ・CM撮影で建物の魅力を効果的にアピールし、認知度向上、来館促進に努めました。</p> <p>また、アンケート内容を更新し、利用者ニーズの把握と分析、お客様目線に立った施設運営を実施しました。冬には2年ぶりの小学校の社会科見学再開に伴い、学芸員と連携し安全安心と満足度の高いプログラムの実現に貢献しました。なお、11月に社内モニタリングを実施し、不備事項について見直し・是正を行いました。</p>
<p>所管部門評価</p>	<p>令和3年度は、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大により、臨時休館期間が発生するなど施設の運営に大きな影響が発生しましたが、感染防止対策の徹底により、新型コロナ禍の中で展示室の開館、歴史館事業の実施に努め、利用者が安心・安全に施設が利用できるよう適切な運営が行われています。</p>